

# みなまた 市議会だより

第59号

平成25年10月15日

編集 みなまた市議会  
だより編集委員会

発行 水俣市議会  
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.minamata.lg.jp](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



中尾山公園のコスモス

- 2億2,820万円の一般会計補正予算を可決
- 誘致企業立地促進補助金を削減する修正案を可決
- 水俣市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例を可決

# 9月定例会報告



会期：平成25年8月30日～9月19日

9月定例会市議会が平成25年8月30日(金)から9月19日(木)までの21日間で開かれ、条例改正や補正予算などの議案審議のほか市政に対する一般質問等を行いました。

## 条例

### 条例7件を可決

- 水俣市職員退職手当支給条例及び水俣市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 国家公務員退職手当法及び国家公務員退職手当法施行令の一部改正等に準じて、早期退職希望者の募集に関する規定の整備等を行うため改正するもの
- 水俣市海洋牧場の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ドンガバチヨ号を廃止するため改正するもの
- 水俣市営住宅の一部を改正する条例
- 牧ノ内団地建てかえによる一部住宅の除去に伴う所要の整備等のため改正するもの
- この他、国の法律改正に伴い条例を改正したものです。
- 水俣市税条例の一部を改正する条例
- 水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 水俣市督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例
- 水俣市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

## 予算

### 補正予算7件を可決

〔平成25年度一般会計補正予算(第3号)〕  
補正額 2億2,820万円

#### 主な事業

- 国からの給与減額支給措置の実施要請に基づく人件費の減額  $\Delta$ 2,348万円
- 水俣病資料館整備事業 1,507万円
- アグリサポート体制整備支援事業 1,276万円
- 牧ノ内・大迫線道路改良事業 5,032万円



廃止予定のドンガバチヨ号

【平成25年度水俣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）】  
補正額 379万円

主な事業

○国からの給与減額支給措置の実施  
要請に基づく人件費の減額

△80万円

○国庫支出金等返還金の増額

477万円

【平成25年度水俣市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）】  
補正額 △48万円

主な事業

○国からの給与減額支給措置の実施  
要請に基づく人件費の減額

△39万円

【平成25年度水俣市介護保険特別会計補正予算（第2号）】  
補正額 2,142万円

主な事業

○国からの給与減額支給措置の実施  
要請に基づく人件費の減額

△51万円

○国庫支出金等返還金

2,201万円

【平成25年度水俣市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）】  
補正額 △76万円

主な事業

○国からの給与減額支給措置の実施

要請に基づく人件費の減額  
△67万円

【平成25年度水俣市病院事業会計補正予算（第2号）】

○太陽熱集熱システム及び井戸水熱源ヒートポンプ工事費

1億2,664万円

【平成25年度水俣市一般会計補正予算（第4号）】  
補正額 3,483万円

主な事業

○公共土木施設の災害復旧費

2億1,819万円

※会計ごとの予算の補正額は左表をご覧ください。

【平成25年度 会計別補正予算】

(千円)

会計名	補正額	補正後の額
〈一般会計〉	263,044	14,466,122
〈特別会計〉	—	—
国民健康保険事業	3,792	4,479,990
後期高齢者医療	482	393,071
介護保険	21,422	3,391,354
公共下水道事業	764	1,374,764
〈企業会計〉	—	—
病院事業	126,647	1,698,786

陳 情

陳情1件を不採択

○防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出に関する陳情

不採択理由

平成22年12月議会においても同様の陳情を採択し、国等に意見書を提出していることから、重ねての意見書の提出は不要として不採択になりました。

請 願

請願2件、陳情2件を継続審査

これまで提出があった請願2件、陳情2件は、慎重審査を要するため、継続審査としました。

○「年金2.5%削減法」を廃止する意見書提出に関する請願

○国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

○久木野地区における入居施設整備に関する陳情

○携帯電話基地局設置に関する条例の制定に関する陳情

意 見 書

意見書2件を可決

○地方税財源の充実確保を求める意見書

○森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書

全会一致で可決し、意見書を国へ送付しました。



葛彩館からの風景

## その他

### ●字区域の変更について

・薄原内の字区域を変更するもの

## 報告

### 次の報告がありました

#### ●専決処分報告

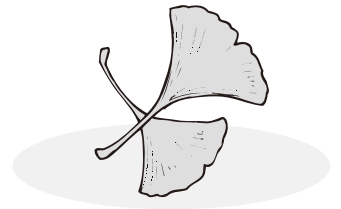
・公用車と一般車両の物損事故に係る損害賠償  
損害賠償額 16万4千円

#### ●健全化判断比率及び資金不足比率の報告

・実質赤字比率及び連結実質比率  
赤字額なし

・実質公債費比率 13.9%  
基準の25%を下回っているため、本市は健全な状態である。

・将来負担比率 52.8%  
基準の350%を下回っているため、本市は健全な状態である。



#### ☆実質赤字比率・連結赤字比率とは？

実質赤字比率は「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、連結赤字の比率は「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさをその地方公共団体の財政規模に対する割合で表すものです。本市では赤字額はありませんでした。

#### ☆実質公債費比率とは？

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表すものです。25%以上になると一部の借入金（地方債）が制限され、早期健全化団体となります。

#### ☆将来負担比率とは？

地方公共団体の借入金（地方債）など、現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表すものです。350%以上になると早期健全化団体となります。

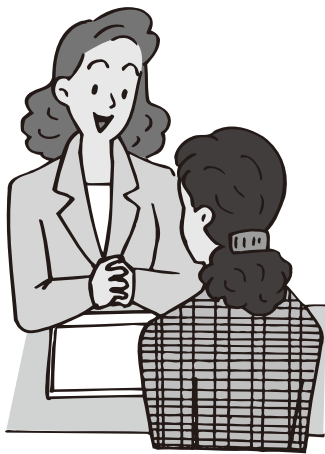
## 人事

### 人権擁護委員候補者の推薦

次の方を人権擁護委員候補者として推薦することに決定しました。

寺床 直子 氏（水俣市大川）

\*人権擁護委員は市長が候補者を選び、市議会の意見を聞いた上で法務局へ推薦し、法務大臣が委嘱します。その活動は、人権相談、人権啓発活動などを行っています。



## 決算

### 各会計の決算7件は継続審査に

次の決算7件は継続審査とし、後日審査する予定です。

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会
- 後期高齢者医療特別会
- 介護保険特別会
- 公共下水道事業特別会
- 病院事業会計
- 水道事業会計

### 一般会計決算特別委員会を設置

一般会計の決算審査のため、特別委員会を設置しました。

委員長	真野 頼隆
副委員長	中村 幸治
委員	谷口 明弘
"	塩崎 信介
"	川上 紗智子
"	瀧上 道昭
"	谷口 眞次

※他の会計の決算審査は各常任委員会（総務産業・厚生文教）で審査します。

# 議案の審議結果

## ▼全員賛成で議決した議案▼

議案番号	件名	結果
議第65号	水俣市職員退職手当支給条例及び水俣市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第66号	水俣市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第67号	水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第68号	水俣市督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第69号	水俣市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第70号	水俣市海洋牧場の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第71号	水俣市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第73号	平成25年度水俣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議第74号	平成25年度水俣市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議第75号	平成25年度水俣市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議第76号	平成25年度水俣市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議第77号	平成25年度水俣市病院事業会計補正予算（第2号）	可決
議第78号	字区域の変更について	可決
議第79号	平成24年度水俣市病院事業会計決算認定について	継続審査
議第80号	平成24年度水俣市水道事業会計決算認定及び剰余金処分について	継続審査
議第82号	平成24年度水俣市一般会計決算認定について	継続審査
議第83号	平成24年度水俣市国民健康保険事業特別会計決算認定について	継続審査
議第84号	平成24年度水俣市後期高齢者医療特別会計決算認定について	継続審査
議第85号	平成24年度水俣市介護保険特別会計決算認定について	継続審査
議第86号	平成24年度水俣市公共下水道事業特別会計決算認定について	継続審査
議第87号	人権擁護委員候補者の推薦について（寺床直子君）	異議なし
意見第2号	地方税財源の充実確保を求める意見書について	可決
意見第3号	森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書について	可決
請第2号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願について	継続審査

## ▼賛否の分かれた議案▼

議案名	会派・議員名															結果	
	創水会							未	来	新政同友		無限21		日本共産党			公明党
	大川	高岡	江口	谷口	田口	瀬上	真野	中村	西田	塩崎	福田	谷口	緒方	野中	川上	牧下	
議第72号 平成25年度水俣市一般会計補正予算（第3号）修正案	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	-	反	反	反	反	-	修正可決
～議論となったこと～ 平成23年9月に立地協定を結んだ誘致企業への誘致企業立地促進補助金（2,500万円）について適切かどうか →補正予算中、誘致企業立地補助金について予算を修正（削除）しました。																	
議第81号 平成25年度水俣市一般会計補正予算（第4号）修正案	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	-	反	反	反	反	-	修正可決
議第72号の修正案提出に伴い、修正可決																	

【賛：賛成 反：反対 -：退席】

\* 議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決かを決定することができる裁決権が認められています。

\* 会派名・議員名の並び順：①多数会派順②会派代表者議席順③会派内の並びは議席番号順  
→議案の内容については②～④ページ、委員会での審査内容は⑩ページをご覧ください。

# あなたの声を市政に

## 一般質問席

9月定例会の一般質問は9月10日から3日間行われ、7議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

- 瀧上 道昭 (6 ページ)
  - ・木質バイオマス発電事業所建設について
  - ・不法投棄について
  - ・窓口対応について
  - ・教育問題について
- 緒方 誠也 (7 ページ)
  - ・再生可能エネルギー発電施設の取り組み状況について
  - ・ごみゼロ施策 (ゼロ・ウェイスト) の取り組み状況について
  - ・平均寿命について
  - ・学校問題について
  - ・誘致企業立地促進補助金について
- 西田 弘志 (7 ページ)
  - ・水銀に関する水俣条約外交会議について
  - ・教育問題について
  - ・都市再生整備計画と観光施策について
  - ・グリーンスポーツみなまたについて
  - ・消費者行政について
  - ・木質系バイオマス発電について

- 塩崎 信介 (8 ページ)
  - ・古紙リサイクル事業について
  - ・木質バイオマス発電事業について
  - ・職員の業務に対する責任について
- 野中 重男 (8 ページ)
  - ・水俣病について
  - ・水銀に関する水俣条約外交会議について
  - ・川内原発の事故を想定した対応について
  - ・携帯電話中継基地局建設について
- 田口 憲雄 (9 ページ)
  - ・グランドデザインの構築について
  - ・公共施設の建てかえ問題について
  - ・組織機構について
  - ・就労人口の増加支援について
- 川上紗智子 (9 ページ)
  - ・T P P について
  - ・中学生までの医療費助成について
  - ・水俣市の療育体制について
  - ・九州新幹線騒音・振動被害問題について

### ☆一般質問とは…

各議員が住民の代表として、行財政全般にわたり市当局の考え方や疑問をたずねることです。現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

### 瀧上 道昭 議員

木質バイオマス発電事業所建設について

- 問 事業主体は決定したか
- 答 事業主体の誘致に向け、複数の企業と相談している。事業主体の決定まで、しばらく調整のための時間が必要だと考える。JNCは今後どのようにかわっていくのか
- 答 得意分野を活かして、発電所の運転など出来る限りの協力をしたいと伺っている。

- 問 調査を進めるにも職員の人件費などがかかるが、市税の無駄をどのように考えるか
- 答 ある程度の可能性調査を実施しないと話を進めるのは難しいと考える。市民の皆様から預かっている金を無駄にしないためにも、企業誘致の実現に向け、頑張っていく。

### 不法投棄について

- 問 不法投棄の予防策として何らかの対策を講じるべきではないか
- 答 常時2名体制で市内全域をパトロールを実施し、その都度ごみの回収を実施している。市報や回覧等で周知徹底に務め、保健所、警察署と綿密な連携を図り、不法投棄撲滅に取り組んでいきたい。

- 問 看板の内容を検討をすべきと思うが
- 答 文言やデザイン等の検討を行い、効果的なものに改善を図っていきたい。

### 窓口対応について

- 問 市民対応の教育について
- 答 接遇マニュアルの活用、課内ミーティング等で話し合

- い、研修等への職員派遣を実施。研修等の活用により接遇に対する意識や行動は、改善していると感じている。
- 問 応対でのトラブル、苦情はどうなっているか
- 答 「手続きに時間がかかる」「説明の仕方、言葉遣いが悪い」等、5件あった。これらについてはその時の状況に応じてお詫びし、苦情を言われた方を訪問し謝罪等の対応を行った。

- 問 積極的な姿勢で対応すべきと思うが
- 答 積極的な声かけが大変重要であると思う。今後さらに徹底するよう指導する。



不法投棄現場

緒方 誠也 議員

ごみゼロ施策の取り組みについて

問 ごみ排出量の現状はどうか

答 一日一人当たり811gで県平均831gより少ないが、まだ多いと認識している。資源回収量は1トン当たり446gで全国一位で埋め立て量も少なくなっている。

問 今後の課題は何か

答 紙類、生ごみの可燃物への混入を防ぐことが最大の課題で、市民への啓発等を進めたい。

平均寿命について

問 水俣の平均寿命はいくらか

答 平均寿命は男性80・7才女性87・3才で平均寿命、延びともに県を上回っている。今後は健康寿命を延ばすため糖尿病対策に力を入れたい。

学校問題について

問 F中問題は収束したのか

答 保護者との連携を密にして状況改善に努めた結果、落ち着きを取り戻してきている。



今後早期から適切な支援ができるよう、相談・指導を充実させPTA啓発も行う。

問 少人数学級の現状と取り組みはどうなっているのか

答 水俣は教職員の加配を県にお願ひし、今年度少人数指導等の加配教員が、小学校4名、中学校7名配置された。今後も加配教員の配置を積極的に県に要望していきたい。

問 学校の夏休みの現状と考え方はいかがか

答 新しい学習指導要綱が実施され、小中学校で35から70時間の授業時間増となり昨年度より夏休みに5日間授業を実施している。今後学校日課の工夫や行事の削減等で解決できないか学校と協議したい。

誘致企業立地補助金について

問 3回も否決されたものをなぜ予算計上されたのか

答 本市への企業誘致活動及び産業の活性化等、今後の地域づくり全般を応援する案件である。雇用を伴う企業進出には最大限の努力をするのが市長の務めであると考え予算計上をした。

問 議会に何を求められるのか

答 雇用の確保、経済の活性化は、企業・市民・行政だけで進めることはできない。オール水俣の一員として、市議会の皆様のご指導・ご協力を是非お願いしたい。

西田 弘志 議員

水俣条約について

問 条約命名について、不安視する声があったが、現状でもあるのか

答 水銀による被害が世界で起こらないように、積極的に関わっていくことが、水俣に課せられた大きな使命である

と、ご理解をいただいている。教育問題について

問 4年ぶりに全員参加の全国学力テストが行われたが、本市の結果はどうか、またデータはどう活用されるのか

答 ほとんどが全国平均を上回った。今後分析結果を提示し、各学校での教育活動に生かし、各学校ごとの分析や対策の指導をする。

都市再生整備計画と観光施策について

問 中尾山公園、湯の児公園、など整備されてきた。今後、観光に結びつける考えはあるか

答 中尾山公園、湯の児公園など単体ではなく市全体のPRや旅行商品の開発を行い、大切な資源として観光に結びつけていきたい。

グリーンスポーツみなまたについて

問 運営を教育委員会の施設ではなく、市民全体で利用しやすい施設にできないか

答 利用しやすい施設にするには、築後32年を経過している施設等の改修が必要となる。市全体の課題として議論していく。

消費者行政について

問 高齢者や学校への、消費生活センターの取り組み、啓発活動の状況はどうなっているか

答 市民や学校に対して出前講座を開催している。今後も充実を図る。

木質系バイオマス発電について

問 他の地域では昭和シエル住友林業等、大手企業による木質系バイオマス発電計画が報道されている。運営事業者と燃料の安定調達のためは立ったのか

答 いくつかの企業に提案してある。先方も情報の精査に時間を要する。木材調達は安定的な調達体制を構築したい。



グリーンスポーツみなまた

塩崎 信介 議員

古紙リサイクル事業について

問 この問題は覚書締結が他事業者者に内密で行われたことについて明確な説明がないこととであり、水俣市政治倫理条例に謳ってある「公平公正」に違反している。過去3度否決された誘致企業立地促進補助金が今回も予算計上されたが、どうなっているのか

答 水俣市誘致企業立地促進補助金は、従来、本補助金交付要綱に定めた要件に該当する場合、予算化の上、要綱に定めた手続きに従って補助金を交付してきた。

これまで本件に関して議会から指摘されたのは、要綱の



古紙ストック場

運用に係る問題ではなく、市が覚書を締結したことに關する問題にあり、そのために市民の皆様への不信感や混乱を招いたことについては私も大変申し訳なかつたと思つてゐる。

市としては、これまで古紙に關する覚書の解消や、地場企業向けの補助金制度の創設、各事業者への説明等を通じて、議会から指摘があつた事項に、出来る限りの対応をしている。

6月議会でも答えたが、本補助金に關しては要綱に基づき要件に合致しているものと判断した場合は、市として予算を計上する義務があると判断している。

本件については、去る6月5日に田中商店より提出された本補助金の交付申請書を要

綱に従い審査したところ、要綱要件に合致していると判断したため、再度予算を計上した。

また、6月議会後に新たな地場企業支援策である水俣市「くまもとグリーン保証制度」活用促進補助金制度を創設したことからも前回と状況が変わつてゐる。

本件については、本市への企業誘致活動及び地元企業による事業拡大など今後の企業支援策全般を左右する案件であり、市民益に繋がるものであると考えてゐる。

野中 重男 議員

水俣病について

問 本年6月に新たな裁判が始まつた。どのような裁判か。

答 昭和44年12月以降生まれの被害者が救済から排除されている。健康調査を要請したらいかがか。また、死亡者は主治医の診断書で判断するように進言したらいかがか

答 特措法で非該当になつた方たちが始めた裁判で48人が

提訴した。市では特措法への申請を徹底した。調査の依頼はしない。死亡者の判断は県にゆだねたい。

水銀に關する水俣条約外交会議について

問 水俣での企画はどうなつてゐるのか。議員は参加を保障した方がいいのではないかと

答 9日に昼食会、開会式、レセプションがある。議員の参加は県に要請する。経済効果はおおむね1千万円である。

川内原発の事故を想定した対応について

問 水俣は出水市の避難民を受け入れると報道されているが経過はどうなつてゐるのか。

答 水俣市民の避難計画はあるのか。また福島では汚染水の漏えいが問題である。どのように

鹿児島県から熊本県に要請があり市長は受け入れを表明した。詳細はこれからである。水俣市民の計画はまだできてゐない。国の動向を見て対応する。汚染水漏れは大きな問題で流出防止を願う。

携帯電話基地局について

問 基地局建設に当たつて農業委員会に書類が出るが委員会は何らかの権限があるのか。

答 山林や雑種地への建設は自治体では全くつかめない。条例をつくるべきではないか

問 市の農業委員会には権限は全くない。提出された届出の文書で間違いは県に報告する。

来年、WHOが公式のリスク評価を出す。それを受けて検討する。



携帯電話中継基地



田口 憲雄 議員

グランドデザインの構築について

問 今後のまちづくりについて、どう考えているのか

答 環境首都の称号も取ったが経済活性化や雇用創出は、まだまだなので今後、頑張っていく。

問 まちの基盤について、ま

答 人口目標を立て、デジタル化していく。

問 人口対策は、どのように

答 雇用創出や子育て環境を整備して、色々な研究、対策をしていく。

問 臨海道路などインフラ道路をどうするのか

答 産業団地と水俣港の臨海道路は重要なので検討していく。

問 公共施設の建てかえ問題について

答 公共施設の耐震化や建てかえについて

答 文化会館は十分な耐震性

を確認。図書館・公民館は1階の耐震性能が不足しており、補強を進める。



水俣市の公共施設

問 市庁舎の建てかえはどのようにするのか

答 現在地に建てかえが望ましいと検討委員会の答申を受けているので場所や財源について今後検討する。

組織の統廃合について

問 上水道・下水道は、現在のようになっているのか

答 連携する業務を含め進めている。

問 他の部署はどうか

答 組織、機構の見直しを進めていく。

問 就労人口の増加支援について

答 産業支援対策について水

俣の知的財産である有資格者の調査はしないのか

答 重要な政策課題として有資格者調査を検討していく。

問 中長期的な産業構造のビジョンは考えないのか

答 変化を見極め、ビジョンを検討していく。

問 看護師、介護従事者の人材バンクは考えないのか

答 関係機関に意見交換していく。

問 県に看護学校を市長がリーダーシップを取って要望しないのか

答 要望しているが、難しい。2町の首長に話して要望活動をしていく。

川上 紗智子 議員

TPPについて

問 TPP参加による水俣の農林水産業への影響をどう考えているか

答 水俣の主な農産物である米、肉、柑橘類、お茶の推計値を用いて試算した影響額は農業産出額の約14%、約3億5千万円の減少となる。

中学生までの医療費助成制度について

問 子ども医療費助成制度のこれまでの成果はどうか

答 10月から対象を小学校就学前までから小学6年生までに拡大してきた。対象が広がり、受診しやすくなったことで、より多くの子ども達の疾病の早期発見、早期治療を促進し、安心して医療を受けられる体制づくりに寄与することができた。

慢性疾患や障害を持ち定期的な受診が必要な場合、確実に経済的負担の軽減につながっていると考えている。

問 出水市は中学3年まで、芦北町、伊佐市は高校3年までを対象としている。水俣でも中学3年まで広げることが検討してはどうか

答 慎重に対応したい。

問 水俣市の療育体制について

答 地域療育センター事業の内容と利用状況はどうなっているか

答 水俣市では、水俣芦北地域(1市2町)の身体や知的に障害のある児童及び子ども

の発達などについて不安や心配のある家族等に対して、身近な地域で相談や療育指導等を、水俣市子どもセンター内に設置した水俣芦北地域療育センターで実施している。

平成25年度8月末現在の利用状況は、水俣市28人、津奈木町4人、芦北町2人の計34人。

近年、乳幼児健診時の療育指導をはじめ、保健、教育、医療等の各関係機関との連携や保育園、学校等の施設支援の実施により、本事業の登録利用者は年々増加傾向にある。

問 療育事業の課題は何か

答 子育て支援の拠点施設としての子どもセンターでは「つどいの広場事業」や「児童館事業」等を実施しているが、各事業利用者の増加に伴い、施設・設備の狭隘化・老朽化が課題である。また、現在水俣市では実施していない障がいを持つ児童等を対象にした夏休み等における児童デイ実施を検討するための関係機関等との連携強化も今後の課題となっている。

## 市議会からのお知らせ



### 本会議の様子をインターネットで見ることができます



水俣市  
ホームページで

『市議会だより』のバックナンバーや  
詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

水俣市 議会 検索

<http://www.city.minamata.lg.jp>

「議会インターネット中継」をクリック！

### 政務活動（調査）費を公開しています

政務活動（調査）費とは、議員の調査研究その他の活動のために必要な費用として、各会派に対して交付されるものです。（☆交付額：会派の所属議員数×月額20,000円）

地方自治法の一部改正に伴い、平成25年3月から「政務調査費」は「政務活動費」に名称変更しました。水俣市議会では、ホームページで収支報告書、領収書等を公開しているほか、閲覧請求も事務局で受け付けています。

## 議会運営委員会で先進地を視察してきました

平成25年8月20日～22日にかけて、三重県鈴鹿市議会と鳥羽市議会を視察してきました。

どちらも議会改革について、特に予算委員会と議会報告会を重点的に研修してきました。水俣市議会は予算委員会がなく、2つの常任委員会で予算の議案を分割して審議を行っているため、常任の予算委員会がある2市を選定し、話を伺ってきました。



### 質疑・応答

鈴鹿市議会は予算決算常任委員会はあるが、4つの常任委員会で審査する分科会方式なので、結果的には水俣市の分割審査と同じではないか。

（応答）委員会として全体会を開き、執行部も入り、質疑は行わないが、各分科会の委員長が質疑を受けている。当面はこれで行っていく。

全体会を開くことにより、これまで難しかった修正や組み替え動議等の機会がもてる。

これらを参考に、当市議会としてはどう取り組んでいくのか、どう検討していくのかなどを協議していかなくてはならないと思います。

# 常任委員会の報告

## 厚生文教委員会

〈主なもの〉

○平成25年度水俣市一般会計補正予算（第3号）付託分

補正の主な内容－国からの給与減額支給措置の実施要請に基づく人件費の減額

第3款民生費－介護予防地域づくり事業

第4款衛生費－水俣病資料館整備事業

第9款教育費－公民館管理運営費

財源－第14款 国庫支出金、第15款 県支出金、第18款 繰入金、第19款 繰越金、第20款 諸収入、第21款 市債

質疑－地域介護・福祉空間整備等補助金の内容は。

答弁－事業所2カ所と整備整備を実施した1事業所への補助金。

内容は、空間整備費が上限3,000万円、設備整備費が上限200万円。

質疑－認知症医療支援診療所地域連携モデル事業の内容は。

答弁－国が精力的に進めている認知症医療のモデル事業で、認知症医療支援診療所を設置することにより、上位医療機関との認知症医療体制を強化するもので、熊本県では初めて実施する事業。

佐藤クリニックへ委託し、熊本大学・平成病院・水俣市芦北郡医師会と協力して事業をし、相談窓口の設置や研修会等を行い、市は事務処理等のサポートを行う。

特に討論もなく、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



## 総務産業委員会

〈主なもの〉

○平成25年度水俣市一般会計補正予算（第3号）付託分

質疑－久木野分収林の分収交付金の割合はどうなっているのか。

答弁－立木の売上額から切り出しに必要な経費を差し引いた額の9割を交付する。

質疑－企業等農業参入支援事業の内容は。

答弁－南九州センコー株式会社が石飛、桜野上場の既存の茶園を賃借し、事業参入するもの。

質疑－市道牧ノ内・大迫線工事の進捗状況及び予算の増額理由は。

答弁－9月中に用地交渉に入りたいと考えている。予算は社会資本整備総合交付金の増額に伴うもので、平成26年度の完成に向け、進捗を早めることができると思う。

### 誘致企業立地促進補助金を削減する修正案

採決は可否同数となったため、委員長において修正案を可決すべきものと裁決。

修正案に賛成の意見－ほとんど状況が変わらないまま4回も提出されたことは、議会制民主主義上よいこととは思われない。

修正案に反対の意見－法的にも問題なく、市はこれまで議会の要望にも応えて、入札や覚書に関しても謝罪、見直しをしてきている。

○平成25年度水俣市一般会計補正予算（第4号）

質疑－城山公園付近の崖は切り立っており、今後も崩壊が予想されるが、抜本的な対策はできないか。

答弁－今回は崩壊した部分に関し災害工事で行うが、それ以外は財源の確保が困難。今後、活用できる財源がないか検討したい。

補正予算第3号の修正に伴う、予算額の一部修正案が出され、賛成・反対の意見に分かれたため、裁決の結果、可否同数となり、委員長において修正案を可決すべきものと裁決しました。

\*委員会とは、議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。常任委員会は今期から2つになりました。

## 他自治体からの視察

(平成25年7月～9月)

- 7月2日 長野県茅野市議会  
・環境モデル都市づくりについて
- 7月3日 新潟県上越市議会  
・村丸ごと生活博物館推進事業について
- 7月11日 福島県郡山市議会  
・環境モデル都市水俣の取り組み等について
- 7月18日 三重県桑名市議会  
・小型家電リサイクル環境省モデル事業について
- 7月30日 埼玉県越谷市議会  
・環境モデル都市づくりについて
- 8月1日 鹿児島県始良市議会  
・環境モデル都市の取り組みについて
- 8月20日 東京都立川市議会  
・日本一の読書のまちづくりについて
- 9月26日 福岡県篠栗町議会  
・環境モデル都市づくり等について

## 議会の主な動き

(平成25年7月～9月)

- 7月8日 水俣・芦北地域振興推進委員会（熊本県）と水俣・芦北地域振興推進協議会との意見交換会が熊本テルサで開かれ、これに議長が出席した。
- 7月14日 第58回恋龍祭市民総踊り 議員参加
- 7月20日 平成15年の集地区及び新屋敷地区水俣豪雨災害慰霊式 議員参加
- 7月28日 第38回水俣競り舟大会 議員団参加
- 7月29日 平成25年第3回水俣芦北広域行政事務組合議会臨時会
- 8月9日 議会運営委員会「9月定例会の会期等について」
- 8月23日 議会運営委員会「9月定例会の提出議案について」
- 8月30日 平成25年第3回水俣市議会が開会
- 9月10日～12日 一般質問
- 9月13日 各常任委員会
- 9月19日 閉会

## 議会報告会を開催します

水俣市議会では、議会をより身近に感じていただくために、「議会報告会」を開催します。平成25年9月議会の概要報告や意見交換を行うものです。多くの市民の皆さまの御参加をお待ちしております。

**議会報告会の開催日程** ☆どこの会場へも参加できます

日 時	場 所	担当議員	日 時	場 所	担当議員
平成25年10月16日(水) 午後7時から1時間 程度	愛 林 館	淵上、真野、中村、緒方	平成25年10月17日(木) 午後7時から1時間 程度	旧第三中学校 体育館会議室	淵上、真野、中村、緒方
	越小場公民館	谷口明、大川、牧下、西田		も や い 館 会 議 室	谷口明、大川、牧下、西田
	葛 彩 館	塩崎、江口、川上、谷口眞		4 区 公 民 館	塩崎、江口、川上、谷口眞
	湯の鶴温泉 保健センター	田口、高岡、福田、野中		20区 公 民 館	田口、高岡、福田、野中

\*次回は3月議会終了後の予定です。

## 編集後記

天皇・皇后両陛下をお迎えして十月二十六日、二十七日の予定で第三十三回全国豊かな海づくり大会が実施されます。現在はいりハールサル中で、一ヶ月後の本番に備えています。水俣での式典は十月二十七日、稚魚の放流、漁船の海上パレードがエコパークで行われます。

新しく生まれ変わった水俣が全国中継される絶好の機会です。私たち市議会議員も全面的に支援していきたいと思っています。

市民の皆様と一緒に大会を盛り上げていきましょう。

編集委員(委員は50音順)

委員 長	塩崎 信介
副委員 長	田口 憲雄
委員	江口 隆一
委員	川上 紗智子
委員	谷口 眞次
委員	西田 弘志
委員	淵上 道昭
委員	牧下 恭之